

厚生労働省委託事業（受託者：公益財団法人原子力安全技術センター）

放射線業務を行う  
医療機関必見

参加無料

放射線被ばく管理に関する  
マネジメントシステム導入支援のご案内

令和3年4月から、職業被ばくにおける眼の水晶体に受ける等価線量の新たな限度値が施行されました。医療機関においては、放射線被ばくによる白内障などの**健康障害を予防**するため、**法令の遵守が不可欠**であり、従来の限度値から引き下げられた新たな値に対応するよう、医療従事者の被ばく低減に取り組むことが求められています。

この事業では、放射線業務を行う医療機関を対象に、**研修会、事例研究会及び個別支援**を通じて、放射線業務に従事する医療者の被ばく低減のためのマネジメントシステム（以下「放射線MS」といいます。詳しくは裏面をご覧ください）について説明し、貴事業場における**放射線管理体制の強化**を支援します。

**参加は無料**です！また、日本診療放射線技師会の会員の方が参加されると、生涯教育システムに基づくカウント付与の対象となります。なお、詳細については、随時、お知らせいたします。この機会にぜひ、ご参加ください！

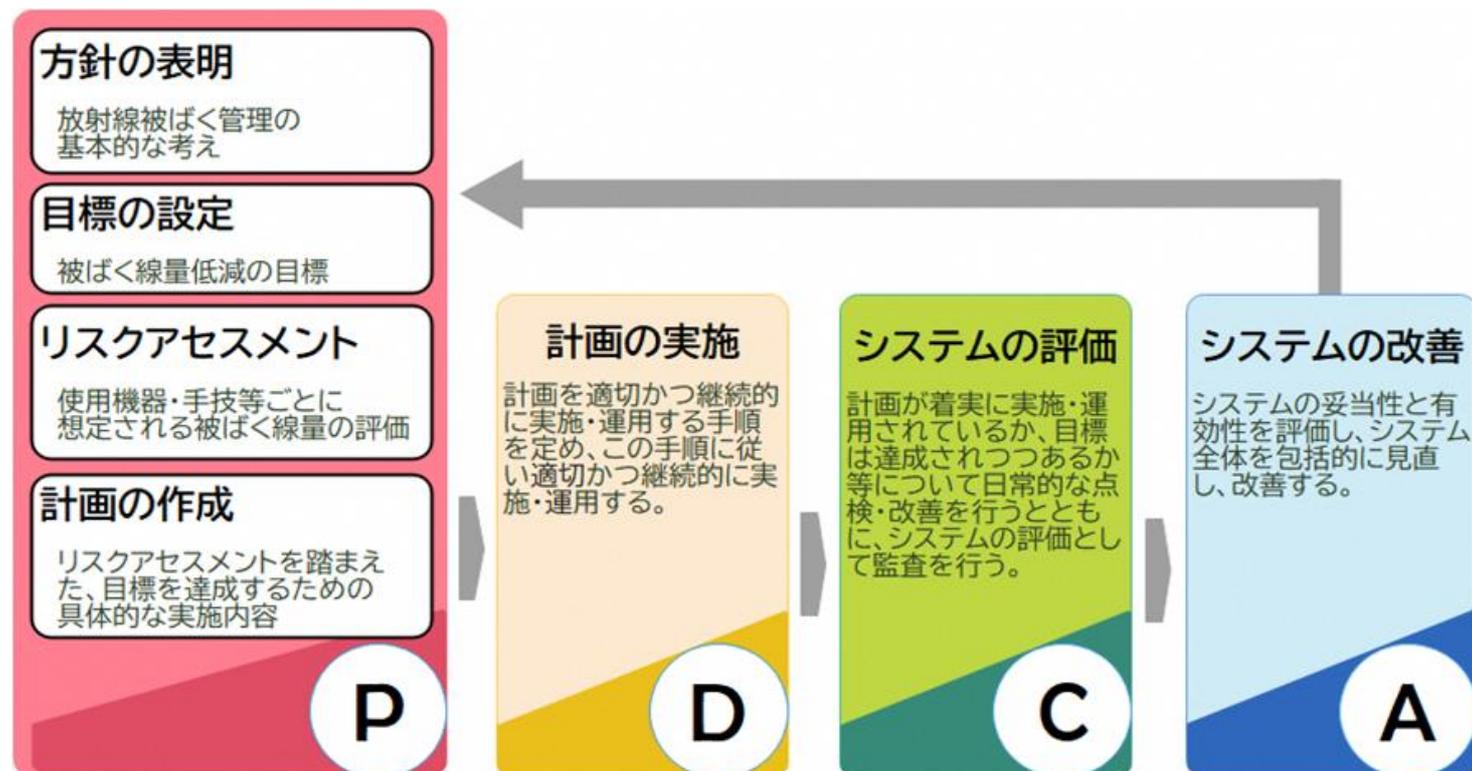
## 概要

支援期間	令和4年8月～令和5年2月	
開催方法	ZOOMによるオンライン形式	
申込みコース	<b>新規コース</b>	<b>継続コース</b>
対象	<b>はじめて参加する事業場</b> 以前に参加した事業場も申込みが可能です。	<b>以前に参加した事業場</b> はじめて参加する事業場も申込みが可能です。
	新規コースと継続コースの両コースに申込みすることも可能です。	
申込期間	<b>令和4年7月4日（月）～8月5日（金）</b>	
	<b>特設Webサイトからお申込ください。（裏面をご覧ください）</b>	
募集数	各コース毎に <b>200程度</b>	
開催内容	3回の <b>研修会</b> （約3時間/回） 8月29日,9月12日,26日 13:30より	2回の <b>事例研究会</b> （約3時間/回） 10月3日,17日 13:30より
	第1回 放射線MSの基本、リスクアセスメントの考え方など	リスクアセスメント、個人線量計装着の管理、委員会の構築、マネジメントシステム文書の作成など、放射線MSの取組みに関する事例発表、意見交換
第2回 年間目標、年間計画の設定など		
第3回	監査、システム改善など	-
個別支援	希望される事業場には、放射線MS導入についてオンライン形式で個別支援を行います。現地での開催も可能です。	
報告会	取組の好事例を共有するための発表会を2月に予定しています。	

※日程、内容等は、諸般の事情により変更となる場合があります。

## 放射線被ばく管理マネジメントシステムの概念

本事業の放射線被ばく管理マネジメントシステムは、労災疾病臨床研究補助金事業「不均等被ばくを伴う放射線業務における被ばく線量の実態調査と線量低減に向けた課題評価に関する研究」の研究成果によるものです。



お申込み・お問合せ先・特設Webサイトなどはこちらから

**特設Webサイト** <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

日程等の最新情報は、特設Webサイトでご確認ください。  
また、ツイッターにて本事業のイベント情報を発信いたしますので、ご参照ください。



**アカウント名 MS導入支援事務局**  
**@rad\_ms2022**

【お問合せ先】

電話 : (03)-3830-0720 (MS事業係直通)  
受付時間 : 10:00~12:00・13:00~16:00 (土・日・祝日・創立記念日(10/7)除く)  
メール : ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

公益財団法人原子力安全技術センター 業務部 MS事業係  
〒112-8604 東京都文京区白山5-1-3-101 東京富山会館ビル

本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが、次の機関の協賛・協力を得て、実施するものです。

協賛 : 公益社団法人日本診療放射線技師会  
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会  
協力 : 産業医科大学